

# 東京後楽ロータリークラブ週報

The Rotary Club of Tokyo Koraku Weekly Report



インスピレーションになろう

「ロータリーを味わおう！！」

2018年～2019年度 会長  
藤田 哲朗

「インスピレーションになろう」

2018年～2019年度 国際ロータリー会長  
バリー・ラシン

## 水と衛星月間

第902回 例会

「創立20周年記念事業について」⑦

## CLUB NEWS

- ◆ 3月4日(月)上野精養軒に於いて開催された「第2回北分区分会会長・幹事会」に、志熊会員が幹事代理として出席いたしました。

## MEMBER'S NEWS

- ◇ 3月お誕生日おめでとうございます！

佐藤健一会員 財津康弘会員  
金子会員ご主人様 菊池会員奥様  
志熊会員奥様

- ◇ 藤田会長より、玉露園のこんぶ茶発売100周年のクラブ企画商品として2月から販売された「お茶漬けサラサラ」を会員の皆様に頂戴致しました。

## 前々回例会

第900回例会

卓話「第2580地区 職業奉仕について」  
地区職業奉仕委員長 大牟田文哉会員

## 出席状況

第900回例会

出席 27名 欠席 17名

ビジター 3名 ゲスト 0名

大野利美知北分区分会ガバナー補佐(東京上野)

園部経夫北分区分会幹事(東京上野)

宮澤伸英氏(東京足立)

出席率:73.37% 前例会修正後:78.95%

## ニコニコBOX

大野北分区分会ガバナー補佐・園部北分区分会幹事:3回目のクラブ訪問で藤田会長、菊池幹事と打合せさせて頂きました。

ミオンマイルズ:1,360円 本年度合計:798,160円

## 前回例会

第901回例会

「台北景福 RC 第13回創立記念式典」

2019年3月5日・12日合併号 (No. 901・902)

## 出席状況

第901回例会

出席 19名 欠席 25名

出席率:69.23% 前例会修正後:82.51%

☆ 2月21日(木)「地区大会」にて



地区五大奉仕委員会共催「奉仕活動情報交換研究会」に活動報告として『視覚障害者とその家族のための人道的支援』を提出し、パネルが江戸の間で紹介されました。

☆ 2月19日(火)「米山記念奨学生期間修了式」にて



松坂ガバナーとジャンさん

TEL: 03-5940-3355 FAX: 03-3947-4010 E-Mail: koraku@mint.ocn.ne.jp

例会 毎週火曜日12時30分 / 東京ドームホテル 電話: 03-5805-2111

事務局 〒112-0014 文京区関口2-10-8 藤田観光(株)別館内

会長 藤田 哲朗 / 幹事 菊池 修一郎 / 会報委員長 戸部 昇

URL <http://korakurotary.com>

## 第896回 例会卓話「青少年交換について」

ROTEX 鈴木風氏

青少年交換学生第51期鈴木風と申します。本日は私達ROTEXの活動についてお話しします。私の自己紹介とロータリー青少年プログラムそしてROTEXについてです。後半は動画で活動を紹介します。私は鈴木風と申します。現在二十歳で青山学院大学文学部フランス文学の1年生です。スポンサークラブは本郷ロータリークラブ、派遣国はチェコ共和国でプラハに1年間住んでいます。チェコの地区は2240地区ですがチェコとスロバキアで一つの地区になっています。その為一つの地区に来る学生が100人ぐらいいます。日本の地区は10人前後で行っているのとてもビックリしました。世界100か国以上で実施されているロータリー青少年プログラムは15才から19才の学生が外国に滞在し文化や言語を学びながら、海外に友人を作り世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。この世界市民としての自覚というのは英語圏はもちろんヨーロッパ各国やタイやインドのアジア圏の英語圏以外にも派遣されるプログラムです。私の行っていたチェコ共和国はチェコ語なので行く前は全く知りませんでしたが、現地に行ってネイティブの人と話すのと本で学習するのでは吸収力は違い、本場に行くことは非常に大切だと思いました。英語圏以外にも行くというのは留学の最大の目的が語学の勉強だけでなく、この世界市民としての自覚を養うためにあります。小さな親善大使として日本から世界各国に行きその国で生活すると沢山の人と出会います。それは異文化の理解に繋がり国境を超えた友情と絆が生まれます。このような機会をもたらすことで、グローバルな人間となり、世界平和の貢献となることをロータリーのプログラムは目指しております。このプログラムは全部で5年間を想定しています。まずは派遣される1年前から派遣予定学生としての準備期間が始まります。続いて2年目海外に行って派遣生活をする実践期間に移ります。帰国後3年から5年はROTEX活動になります。ROTEXは後輩のサポートが主な仕事になります。まず準備期間について話します。こちらは茶道の写真になります。この真ん中の2人が茶道の先生で留学生そして日本人の学生約20人に月1回茶道のレッスンをしています。また毎月インバウンドとアウトバウンドの学生をROTEXが引き連れて日本の観光地や日本のもんじゃやお好み焼きを食べに行く活動をしています。12月は毎年恒例のクリスマスパーティも開催されます。1年間ではこの他にも沢山のイベントが行われます。まず6月に派遣学生の選考試験が行われます。約30～40人の中から10人が選ばれるというとても狭き門となっております。8月になるとサマーキャンプが行われます。ここで初めて留学生と日本人の派遣学生の交流が始まります。9月になると留学生の高校での生活が始まります。留学生にとっては高校では日本語での授業なので最初はとても大変だと思いますが、すぐに学校の友達を作って仲良くできるようになっています。12月にはアウトバウンドの派遣国の発表があります。ここで日本の派遣学生は自分の派遣国を知らされます。3月末から4月にかけてジャパンツアーが始まります。これはROTEXがほぼ全部企画を担当しインバウンド・アウトバウンドを引き連れて関西を周遊します。7月に入るとインバウンドが帰国する時期になります。帰国する前にインバウンドの帰国前報告会が行われます。1年間の日本語の成果を発表するスピーチが行われます。続いて2年目これは私の留学中の写真で一番左が現地の高校のクラスメートとの写真、右側がホストファミリーとの写真、下が2240地区に来た留学生の集合写真になります。沢山の数えきれない出会いがあり、楽しいこともありますし、大変なことも沢山ありました。その大変なことを乗り越えて帰ってきた学生はみんな一回り大きくなって成長して帰ってきています。帰国してからすぐにROTEX活動が始まります。帰国した学生は次の進路に向けて受験があるため主に活動する時期は最後の5年目になります。ROTEXの主な活動としては派遣予定学生・来日学生のサポート各行事の企画実施と組織の運営になります。自分たちが派遣予定生だったころ先輩ROTEXが自分たちにやってくれたことに感謝し今の後輩に返しています。こうして先輩から後輩に受け繋がりもう50年以上がたちました。ロータリーの活動を通しての学びの大きさとしての成長の大きさは計り知れません。私は今年度でROTEX活動は最後ですがロータリーの一員としての誇りを胸にこれからの未来を歩んでいきたいと思っています。そしてこれからもロータリーに関わっていきたいと思っています。



ホストファミリー



帰国前報告会



世界市民



選考試験



茶道



留学先の学校で